

2024年度岡山史料ネットの活動について

岡山史料ネット

✉ okayamasiryonet@gmail.com

🌐 <http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>



website QR code

資料修復活動について

2018年の西日本豪雨の際にレスキューした資料の修復活動を引き続きボランティアのみなさんと取り組み、2024年5月に全1,714点の洗浄作業が完了しました！まだ撮影などが残っていますが、これまでご協力いただきましたみなさまにあらためてお礼申し上げます。なお、調査を終えた井上家文書、富岡家屏風下張り文書については、2024年1月と7月にそれぞれご所蔵者にお返しすることができました。また、2024年3月には、史料ネットで調査を進めてきた井上家文書、土師家文書、および旧永瀬家住宅襖下張り文書について報告書を発行しました。これらは岡山大学附属図書館学術リポジトリで公開しています（右のQRコードからアクセスできます）。

下張りはがし作業など、引き続きボランティア作業も行っています。



土師家文書の洗浄・乾燥活動の様子（2024年5月）



井上家文書



土師家文書



旧永瀬家文書

高梁市歴史美術館特別展「備中神楽と西林^{こっきょう}国橋」で保全資料が展示



神能の役割を記した「神楽帳」（1842年、土師家文書104、報告書8頁参照）

備中神楽とは岡山県西部に伝わる国の重要無形民俗文化財に指定された演劇性の高い神楽で、現在の高梁市落合町に生まれた神官・西林国橋（1764-1828）が神話を取り入れて創始したとされます。これをとりあげる展覧会に、西日本豪雨でレスキューされた土師家文書のうち一部の関係史料が展示されます。どうぞお運びください。

会場：高梁市歴史美術博物館 ☎0866-21-0180

会期：2025年2月1日（土）～5月12日（月）

活動報告会「思い出の写真を残す—真備から能登へ—」を開催

8月4日（日）にノートルダム清心女子大学で、今年度の総会と活動報告会を開催しました。今回は真備写真洗浄あらいぐま@岡山の森田靖さんと福井圭一さんに、写真アルバムの具体的な修復手順や西日本豪雨直後から始まった写真の洗浄活動が各地に広がるなかで考えてこられたことなどをお話いただき、意見交換しました。詳細はニューズレター12号をご覧ください。オンラインを含め約30名が参加しました。



活動報告会での森田靖さん（左）と福井圭一さん

会員を募集しています

活動を支えてくださる会員（年会費1,000円議決権ありの会員と、年会費無料のサポート会員）を募集しています。どなたでもご参加いただけます。事務局までご連絡ください。（文責・松岡）